

ご挨拶

「障害児基礎教育研究会（通称 水口研）」は、創始者である故水口俊（みずぐちふかし）が、障害児教育のあり方を明らかにすることを目的に平成元年に設立したものです。

①特別支援教育に携わる教師及び作業療法士などの周辺職種や保護者等、障害のある子どもにかかわる多彩な人々が参加しています。

②「見る、見たものに手を伸ばす」など、初期の運動操作から概念形成・記号操作に至るまでの過程を独自の教材教具を開発し、教育実践に基づいて解明しようとしています。

③子どもと支援者である大人が、ともに学び合う存在として、人間関係を深めていくことを大切にしています。

これらを特色として、月1回定例の研究協議会を行っています。この会には、会員にかかわらず、どなたでも無料で参加できます。

平成19年、水口俊は志半ばに逝去しましたが、その心は会員が受け継ぎ、それぞれの実践の場で、研究を深めています。教材教具を作ってみたい方、研究協議会に参加したい方は、ホームページ「お問い合わせ」より幹事にご相談ください。

障害児基礎教育研究会 代表 吉瀬正則

<幹事>

- | | |
|-----------------|-------|
| ・全国療育相談センター | 立松 英子 |
| ・障害児基礎教育研究会幹事 | 根本 文雄 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 加部 清子 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 飯島 徹 |
| ・東京都立中野特別支援学校 | 長沼 潤子 |
| ・東京都立鹿本学園 | 金子記美恵 |
| ・沖縄県立宮古特別支援学校 | 比嘉 展寿 |

URL : <https://kisoedu.jp>

□会場

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 311号室
(3階エレベーター降りて左奥です。)



〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
電話：03-3469-2525（センター棟1階）

【アクセス】

JR東京駅より中央線で約14分 新宿駅で乗り換え、
小田急線 各駅停車で約3分
参宮橋駅下車、徒歩約7分。
地下鉄千代田線 代々木公園駅下車
(代々木公園方面4番出口)徒歩約10分。

参加登録（全員必要）



<https://forms.gle/bXY14k4TJ6cJYZ1Q6>

【参加費】 会員・保護者 無料

非会員：2000円（学生1000円）

<振込先> 三井住友銀行高幡不動支店

店番号261 普通口座 1327611

障害児基礎教育研究会（締切9月30日厳守）

第29回 障害児基礎教育研究会

教材 工夫 展

障害児基礎教育研究会の原点
一ふれあいの道具としての教材教具一



後援 全国特別支援教育推進連盟



第29回 教材工夫展について

第29回教材工夫展は、4年ぶりに対面で開催することになり、主催者一同、充実した内容をお届けすべく、鋭意準備中です。昨年まで2度行ったオンラインでの開催もそれなりの良さはありましたが、なんととっても皆様とお会いし言葉を交わすことに代わる喜びはありません。

「わかる」ことの喜びが子どもの毎日を支えています。教材教具に惹きつけられ、自然に取り組み我が子の姿は、保護者の心も満たすでしょう。工夫された教材教具は、人と人とを結びつけ、新しい学びの扉を開いてくれます。自然界の物には全て色や形、位置、順序、方向があります。本研究会で考える「教育の基礎」は、これらに直接接触れる、動かす学びに人がかかわり、達成感を共にすることにあります。教材工夫展を通じて、年齢や障害の程度を問わない学びの喜びについて、多くの方と分かち合うことができたら幸いです。

(研究会幹事：立松英子)



第29回 障害児基礎教育研究会 教材工夫展



□日 時 2023年10月8日(日) 10:00-16:00

□場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟311号室

□テーマ 障害児基礎教育研究会の原点
一ふれあいの道具としての教材教具一

□概要 障害児基礎教育研究会の創作教材を展示するとともに、これまでの成果をご紹介します。

□ご挨拶 吉瀬正則(障害児基礎教育研究会代表)

<午前>

- ・自由観覧
- ・製作相談
- ・活用相談

教材教具を自由にご観覧いただき、その場で、ねらいや制作のコツ、活用事例等について、製作者に気軽に相談することができます。

<午後>

- ・教材紹介
- ・講演

会員による教材教具の製作秘話

「障害児基礎教育研究会の原点一ふれあいの道具としての教材教具」
全国療育相談センター 立松 英子

□研究紀要 1冊1000円。会員及び参加登録された方には印刷版を無料で配布いたします。
第30集

□参加登録 会員/非会員にかかわらず、裏面のリンクもしくはQRコードからご登録ください。

□参加費 **非会員のみ**、参加費2000円を銀行振り込みで承ります。***会場での集金はできません。***



教材教具とは

- 1 手の操作を通した、共通の言葉となる道具である。
- 2 大人の側からいえば、具体的で、予測のつく、発信と受信の道具である。子どもの側からいえば、わかりやすい受信に基づき学習の結果を発信する自己実現の道具である。
- 3 人間関係の成立のきっかけとなり、達成感を体得し、自己の可能性を発見し、そのよろこびを共感し、相互の信頼関係を深めていくふれあいの道具である。(水口 俊)

2005年7月 「教材教具とは」より要約、抜粋
(ホームページ「創始者紹介」に全文を掲載)



マッサージからコミュニケーションを始める
研究会創始者 故 水口 俊(写真左)

